

# 平成25年度 第4次行革の実施状況を公表

行政チーム 代表

第4次日野市行財政改革大綱・実施計画（実施期間は平成23～28年度）の平成25年度の実施状況をお知らせします。

## ■日野市の行財政改革

市の財政は、歳入の根幹である市税収入の増加が見込めない一方、扶助費などの義務的経費は年々増加しています。また、子育て支援事業の充実や老朽化した公共施設の改修など多様な課題に対応していかなければなりません。

そうした状況の中、第4次日野市行財政改革大綱は、持続可能な「夢のまち日野」の実現を目指し、市民と協働して策定されました。

実施計画では、改革項目として470項目を掲げ、市民委

員からなる日野市行財政改革推進懇談会からもご意見をいただきながら、具体的な取り組みを行っています。

なお、持続可能な行財政運営を実現するためには、今後も行革を着実に推進していかなければなりません。皆さまのご理解とご協力をお願いします。

※第4次日野市行財政改革大綱、実施計画は、市HPおよび市内各図書館で閲覧できます

## 第4次行革実施状況（平成25年度）

### ○実施状況（全470項目）

- ・実施完了の項目 ……70項目（14.9%）
- ・着手・取組中の項目 ……393項目（83.6%）
- ・未着手の項目 ……7項目（1.5%）

## 平成25年度までの効果額

※効果額は、行革に取り組んだことにより、第4次行革実施前（平成22年度）と比較して削減もしくは増収があった金額です

改革項目の体系	効果額（単位：千円）			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	合計
(1)改革により市民満足度の高いまちに	1,542	23,253	39,482	64,277
(2)「公民協働」で創造する新たな公共	0	7,927	7,927	15,854
(3)市民サービスの向上を目指す行政運営	141,797	90,687	92,682	325,166
(4)市立病院・外郭団体の経営健全化	30,659	29,381	31,686	91,726
(5)将来を見据えた公共施設の配置と更新	0	42,419	29,726	72,145
(6)財源確保と適切な財政運営	1,764,144	2,105,496	1,980,154	5,849,794
(7)職員の育成と適正な給与水準	224,629	327,267	279,120	831,016
合計	2,162,771	2,626,430	2,460,777	7,249,978

## 平成25年度の主な取り組み

- 高齢者民間住宅家賃助成の所得要件の見直し
- 新印刷機導入に伴う印刷委託業務の見直し
- 小学校給食調理業務の民間委託化（旭が丘小）
- かしの木ハイツをオーナーに返還（第二かしの木ハイツ）
- 交流センター・男女平等推進センターの有料化
- 市民満足度の高いまちを目指しさまざまな取り組みを展開
- ・日野市地域防災計画の策定
- ・第3次日野市農業振興計画・アクションプランの策定
- ・図書貸出管理システムの更新

## 行政評価結果をまとめました

行政評価結果および、市民評価報告書を公表します。内容は、市内各図書館、市HPで閲覧できます。

▶行政評価とは…行財政改革の一環として、市が行う事務事業を、「必要性」・「有効性」・「効率性」の3つの視点

により評価を行うことで改善を図り、より効率的・効果的な市民サービスの実現を目指すものです。

事業実施主体による所管部署評価および、市民委員による市民評価を参考に、行財政改革推進本部による本部評価を行い、市の方向性を定めるものです。

## さわやか健康体操参加者募集（4月～平成28年3月）

日時・会場・定員 下表の通り※おおむね週1回1時間の教室で全36回。途中で他会場への変更不可。申込多数の場合は抽選。結果は3月中旬通知予定 内容 簡単なリズム体操・ストレッチなど 対象 運動習慣がない65歳以上の市民 ※楽・楽トレーニング体操および悠々元気体操教室と併せての応募不可。他の運動サークル、体操サークルに参加している方はご遠慮を 費用 2,000円 申 2/24(火) (必着)

までに〒191-0011日野本町1-6-2生活・保健センター内健康課さわやか健康体操係へ復信はがき(1人1通。夫婦で同一会場・同曜日・時間を希望される場合は1通で可)で。往信用裏面に第1希望と第2希望の会場・曜日・時間、住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、生年月日、電話番号を、返信用表面に住所、氏名を記入

健康課 (☎581-4111)

## ●さわやか健康体操日程表

会場	曜日・時間	1コース定員	会場	曜日・時間	1コース定員
生活・保健センター(日野本町1-6-2)	火曜日 午前A(前半・後半) 午前B(前半・後半)	30人 20人	富士電機(株)健康増進センター(富士町1)	金曜日 午前(前半・後半)	20人
	水曜日 午前(前半・後半)	30人	落川交流センター(落川1400)	月曜日 午後(前半・後半)	20人
	金曜日 午前A(前半・後半) 午前B(前半・後半)	30人 20人	第七幼稚園(旭が丘2-42-1)	金曜日(前半)14:20~15:20 午後(後半)15:35~16:35	25人
福祉支援センター(高幡1011)	月曜日 午前(前半・後半)	30人	新町交流センター(新町1-13-5)	水曜日 午前(前半・後半)	60人
	木曜日 午前(前半・後半)	30人	七生台地区センター(平山3-26-3)	水曜日 午後(前半・後半)	20人
(公財)交通遺児育英会学生会寮「心塾」(旭が丘4-7-57)	月曜日 午前(前半・後半)	60人	日野台地区センター(日野台4-17)	月曜日 午前(前半・後半)	15人
	月曜日 午前(前半・後半) (金曜日の週もあり)	30人	マザアス日野(万願寺1-16-1)	木曜日 午後(前半・後半)	25人
南平体育館(南平4-23-1)	水曜日 午前(前半・後半)	30人	豊田地区センター(豊田3-31-1)	水曜日 午前(前半・後半)	15人
	木曜日 午前(前半・後半)	30人	新東光寺地区センター(栄町3-14-1)	木曜日 午前(前半・後半)	15人
南平駅西交流センター(平山4-18-1)	水曜日 午前(前半・後半)	30人	七生福祉センター(三沢3-50-1)	木曜日 午前(前半・後半)	30人
	水曜日 午後(前半・後半)	50人	平山台健康・市民支援センター体育館(平山2-1-1)	金曜日 午前(前半・後半)	30人
多摩平交流センター(多摩平2-9多摩平の森ふれあい館)	月曜日 午前(前半・後半)	30人	(社福)東京光の家(旭が丘1-17-17)	月曜日 午前(前半・後半)	20人
	月曜日 午後(前半・後半)	30人	東神明地区センター(神明2-13)	火曜日 午前(前半・後半)	15人
JA東京みなみ七生支店3階(三沢3-53-15)	月曜日 午前(前半・後半)	30人	栄町二丁目地区センター(栄町2-13-4栄町こうゆう館)	木曜日 午前(前半・後半)	20人
	木曜日 午後(前半・後半)	25人	ひの社会教育センター(多摩平4-3)	火曜日 午前(前半・後半) 水曜日 午後(前半・後半)	25人 60人
市民の森ふれあいホール(日野本町6-1-3)	月曜日 午前(前半・後半)	35人			
	水曜日 午前(前半・後半)	30人			
平山交流センター(平山5-18-2平山季重ふれあい館)	水曜日 午前(前半・後半)	30人			
	木曜日 午後(前半・後半)	30人			

※午前コースは、(前半)9:30~10:30、(後半)10:45~11:45  
午後コースは、(前半)13:30~14:30、(後半)14:45~15:45

## 第18回 ひの新選組まつり ~パレード隊士募集

5/10日開催の新選組パレードに参加する隊士、佐藤彦五郎などの配役者を募集します。

対象 高校生以上の方  
定員 100人※衣装・小道具の刀など一式持参の方は別枠。申込多数の場合は抽選  
費用 ①隊士(衣装貸出)…4,000円(市内在住者3,500円) ②隊士(衣装など一式持参)…2,500円(市内在住者2,000円) ③配役者…20,000円  
申 3/20(金)(消印有効)までに〒191-0011日野本町2-15-9日野市観光協会「ひの新選組まつり」係へ郵送。応募用紙(日野市観光協会HP http://www.shinsenhino.comからダウンロード可)に必要事項を記入※詳細は問い合わせを

日野市観光協会(☎586-8808※9:30~17:00。月曜日を除く)

### ▶市民ボランティア募集

ひの新選組まつりのお手伝いをしていただくボランティアを募集します。詳細は、お問い合わせください。

産業振興課 代表

## こちら消防団! ~地域防災の要~



※日野市消防団は、地域により第一分団から第八分団で構成されています

第一分団集まれ! ~日野市消防団第一分団  
担当地域…日野本町、日野、万願寺、石田  
分団構成…4部(1部当たり10~20人)  
消防車両…消防ポンプ車1台、小型動力ポンプ付積載車3台

### ●熱い思いとともに●

わが第一分団の熱い気持ちは市内にとどまらず、東日本大震災での災害支援ボランティアとして岩手県大槌町でも発揮され、地元の方々と一緒に、がれきや土砂の撤去などを行いました。



また、秋葉原で起きた殺傷事件に偶然出くわし、応急救護により命を救った、という団員も所属しています。ほかにもおいしい野菜を作る農家さん、テレビ制作会社社員、学校の先生、地元自動車メーカーの社員などいろいろな職業の団員がいます。普段の職場では得られない知識や経験を得ることができるのも魅力の一つです。ぜひ皆さまの入団をお待ちしています。

※次回は第二分団について紹介します。

防災安全課 代表